

高校生のコンタクトレンズ装用率は、年々上昇しています。しかし、その使用状況は、定期検査を受けない、使用期限を守らないなど、非常に危険です。皆さんはどうですか。思い当たる人もいるのではないのでしょうか？

コンタクトレンズは、医療機器です。誤って使用すると、視力低下や眼病を招きますので、使用法には十分な注意が必要です。

今回はコンタクトレンズ使用の問題点について特集します。「視力は良いので、関係ない」と思う人もいるでしょうが、知識として知っておいてください。もし、友達に間違った使い方をしている人がいたら、危険性について教えてあげてください。

危険な使用方法が目立ちます・・・

- ① 「悪くなるまで」使用する。
1日使い捨てや2週間交換など、期限が過ぎても使用する人が少なからずいるようです。「見えるから、まだいいか」という意識なのでしょうね。使い捨てレンズは、通常のソフトレンズに比べ、汚れが付着しやすく、1週間も使うとほぼ全面が汚れてしまいます。しかも、その汚れは、洗浄してもなかなか落ちません。
- ② 検査を定期的に受けない。
不定期、もしくはまったく医師の検査を受けずにコンタクトレンズを装用し続けている。
- ③ 装用中に眼の異常を感じても、そのまま使い続ける。
- ④ 必要なレンズのケアを行わない。不潔なレンズを使用する。

コンタクトレンズを眼鏡の延長として考えている人が多いかもしれません。それは、間違いです。誤って使用すれば、治ることのない視力低下を残すこともある医療機器です。上記の①②③④に1つでも心当たりのある人は、視力低下を招く危険性があります。今後は、正しく使うよう心がけてください。



※ コンタクトレンズによる角膜感染症は、レンズケース内に繁殖した病原菌により引き起こされると考えられますから、レンズケースも、レンズを装用する度に、水で洗い、しっかり乾燥させましょう。乾燥させる（消毒効果あり）ことが大事です。

アカントアメーバーに注意！！

ソフトコンタクトレンズを、水道水で洗っている人はいませんか？水道水で洗うことによりアメーバーが感染する場合があります。その感染したコンタクトレンズを装用することにより、最悪の場合、失明しますので、絶対に水道水では洗わないでください。



カラーコンタクトは必要ですか？

最近気になるのが、カラーコンタクトです。おしゃれのためかもしれませんが、コンタクトレンズは医療機器です。それに使い方を誤れば眼に重大な障害を残します。大切な身体に余計な負担をかけるのはやめましょう。

ドライアイとコンタクトレンズの関係

ソフトコンタクトレンズを装用すると、涙の蒸発が増え、ドライアイの原因となることが知られています。眼の不快感や充血などの症状がある場合は、ドライアイが疑われますので、まずは、眼科医を受診しましょう。